

2024 年 8 月 5 日

学校法人三幸学園
東京墨田看護専門学校
校長 古渕 泰弘 殿

学校関係者評価委員会
委員長 藁科 智久

学校関係者評価委員会実施報告

2023 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 藁科 智久 （三幸福祉会癒しの里 法人本部 事務局長）
- ② 所 慎 （ぼけっとランド支援グループ 統括部門長）
- ③ 堤 隆太 （飛鳥未来高等学校足立キャンパス キャンパス長）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2024 年 8 月 5 日（会場 東京墨田看護専門学校 201 教室）

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2023 年度 学校法人 三幸学園 東京墨田看護専門学校 自己評価ならびに学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：事務長 鎌田 克也

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 藁科 智久

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で看護を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「心を磨き、心で寄り添える新しい時代の看護師」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①前年度重点施策振り返り

(1)新カリキュラム運用における教育内容の充実

新カリキュラムの運用 2 年目であり、教育内容のさらなる充実が図られた。年度内には、新カリキュラムに基づく初めての臨地実習（地域・在宅）が行われ、実習先との情報共有が円滑に進んだ結果、実習は順調に進行した。また、授業においては ICT 活用や授業内容の工夫がなされ、その結果、授業満足度がアンケートの結果から大きく向上した。しかし、求める水準が高くなったことにより、授業の理解度が低いという結果も見られた。さらに、看護師国家試験においては、学校と学生が一丸となって最後まで尽力したが、残念ながら全国平均を下回る結果となった。

(2)人間性を高める教育の実践

「人を尊重し、感性豊かな人間性を育て、専門的スキルを養う」という教育目的として、単に知識や技術を教育するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、社会で役立つ人材を排出する事を目指している。基本スタンスである「あいさつ・礼儀」について入学から卒業まで一貫した指導強化を行い、就職先・実習先の病院からも、人間力・社会時基礎力のある人材が育っていると、一定の評価を頂いている。

②学校関係者評価委員会コメント

2023 年度は看護師国家試験の結果が全国平均を下回ったことで、厳しい評価となる。一方、授業内容の充実により学生満足度が向上している点は評価される（所委員）

コロナウイルスの収束により、1 年間を通じて臨地実習が実施できたことが大きな成果であり、学生がより実践的な学びを習得できた事は評価できる。課外活動にも積極的に参加することで、学生にとって有意義な 1 年となったと思われる（藁科委員）

新カリキュラム 2 年を迎え、新たな授業・新たな実習が順調に進み、学生も充実した学びを得る事ができている（所委員）

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・新カリキュラム施行2年目となり、全教職員・全学生へのスクールポリシーの浸透が強化された

④ 学校関係者評価委員コメント

・薬科委員

スクールポリシーは、理念・目的・各ポリシーが明確になっており、わかりやすい

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

- ・電子教科書や情報システムの活用がより一層進んだ
- ・墨田区や近隣の区との連携が強化され、地域社会とのコンプライアンス体制が整備された

④ 学校関係者評価委員コメント

・堤委員

開校 7 年をむかえ、運営基盤は安定してきている。より地域や業界との連携をより深めていってほしい

(3)-1 教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・ルーブリック評価の検証

② 今後の改善方策

・成績評価（ルーブリック評価）の実施研修や検証会議の実施

③ 特記事項

・ルーブリック評価に基づいた実習が実施され、大きな問題がなく終了することができた
 ・「ケアリング」「コミュニケーショントレーニング」等、ディプロマポリシーに沿った新科目を開始した

④ 学校関係者評価委員コメント

・所委員

新カリキュラムにおける初めてのルーブリック評価が、大きな問題なく評価が終了した事は良かった。今後はさらに検証・改善して、より適切な評価基準を策定してほしい

(3)-2 実習

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
実習に臨むにあたり、目標の理解を事前に行っているか	4
学生支援の体制整備がなされているか	4
臨地実習指導者と教員の協働体制・連携はとれているか	3
対象者の権利を尊重できるような指導がなされているか	4
学生への計画的な指導を行っているか	4
臨地実習における安全教育・対策を実施しているか	4

① 課題

・初めての実習病院が増えた為、協働体制・連携が一部徹底できていなかった

② 今後の改善方策

・実習との事前・事後の情報共有の徹底

③ 特記事項

・新カリキュラムの特徴の一つである「地域・在宅実習Ⅰ」が開始され、地域包括支援センターや就労支援センターなど、地域に関わる様々な実習先と連携し、順調に実習を実施する事ができた

④ 学校関係者評価委員コメント

・薬科委員

コロナウイルスの収束により、ほぼ1年間を通して臨地での実習となり、かつ新カリキュラム基準による新たな実習が開始されたが、大きな問題なく実習が終了できた事は評価できる

・堤委員

地域・在宅実習Ⅰは、様々なカテゴリーの実習が組み合わされており、特に地域包括支援センターでの実習は、「地域と社会のつながり」を知れる機会となり、学生にとっても良い学びになったと思う

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・看護師国家試験の合格率が全国平均を下回る

② 今後の改善方策

- ・個別アドバイザー制度（学生一人ひとりに教員が学習支援をする制度）の導入
- ・国家試験までの3年計画を立て、1年次から計画的に国家試験対策を実施

③ 特記事項

- ・卒業生の就職進学率100%
- ・ホームカミングデーに多数の卒業生が参加し、卒業生の意見を教育内容の改善に活用

④ 学校関係者評価委員コメント

- ・薬科委員

看護師国家試験の結果が思わしくなかった事は残念ではあるが、学生・教員が尽力した姿は見取れる。

2024 年度は、是非挽回してほしい

- ・堤委員

退学率は 2022 年度も改善点にあげられていたが、ほぼ同数の数値となっている。次年度はサポート体制を強化してほしい

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

・保護者との連携体制の確立

② 今後の改善方策

・保護者(保証人)への、情報・連携方法の工夫

③ 特記事項

- ・就職活動と関連付けてインターンシップを推奨し、多くの学生がインターンシップに参加した
- ・キャリア教育充実のため、複数の外部講演やイベントを実施した
- ・キャンパスアドバイザーやカウンセラーなど、学生の相談体制がより強化された

④ 学校関係者評価委員コメント

・薬科委員

カウンセリング体制が充実しており、悩みのある学生をしっかりとフォローできている

・所委員

2022 年度に引き続き、キャリア教育の一貫として様々な外部の講演を取り入れて、学生の知見を広げる取組を行っている事は評価できる

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員コメント

・特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

- ・youtube オープンキャンパスの実施し、いつでもどこでも学校の事を知れる機会を設ける
- ・業界の認知拡大の為、看護業界説明会を実施

④ 学校関係者評価委員コメント

・所委員

少子化により看護師希望者も少なくなっている中で、一定の志望者を獲得している事は評価できる。

看護師の志願者が今後も減っていくことが想定されるため、看護業界説明会などにて看護師の魅力を訴求して
いってほしい

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023年度～2027年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

・ボランティア活動の積極的な奨励

② 今後の改善方策

・医療機関・福祉施設等への、ボランティア活動を学生に周知し、積極的な参加を推進していく

③ 特記事項

・2022 年度に引き続き実習先病院の防災訓練ボランティアに参加。

④ 学校関係者評価委員コメント

・堤委員

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

■学校運営について

方針・目標が明確に示され、教職員全体・学生にも浸透している事は評価できる。

副校長を新たに迎え、学校としての方向性がより明確となり、「技能と心の調和」という教育理念のもと、人間力の育成を目指した取り組みが進んでいる。この理念の実践により、「挨拶」や「感謝」が飛び交う明るい学校となっている。また、コロナウィルスの収束により、様々な活動の制限がなくなり、新カリキュラムに準じた授業や実習が滞りなく行われたことや、課外活動への参加・教員研修の機会増など、より活動的な1年だったと思われる。

■教育について

新カリキュラム実施2年目を迎え、授業や実習が滞りなく行われた。

特に、3年ぶりに年間を通して臨地での実習が行われ、実習先や教員間で密にコミュニケーションを取りつつ、大きな問題もなく実習を終了することができた事や、準備されていたルーブリック評価に基づいた実習内容を実施できた事は、大きな成果である。

しかしながら、看護師国家試験の結果が全国平均を下回ったことは大きな課題であり、抜本的な改善が望まれる。また、退学率・出席率等の数字が、昨年と比較して改善が見られない点についても、学校として更なる努力が必要である。

■その他

広報活動においては、看護師希望者が業界として減っている中で、東京墨田看護専門学校の応募者数が一定の数字を確保できているため、着実に認知度拡大ができています。

看護師志願者が増えるように、業界全体に対して看護師の魅力の訴求を継続してほしい。

評価10項目において、教育活動・学修成果の2項目で一部改善が求められるが、それ以外の8項目は良い運営ができていると思われる。